

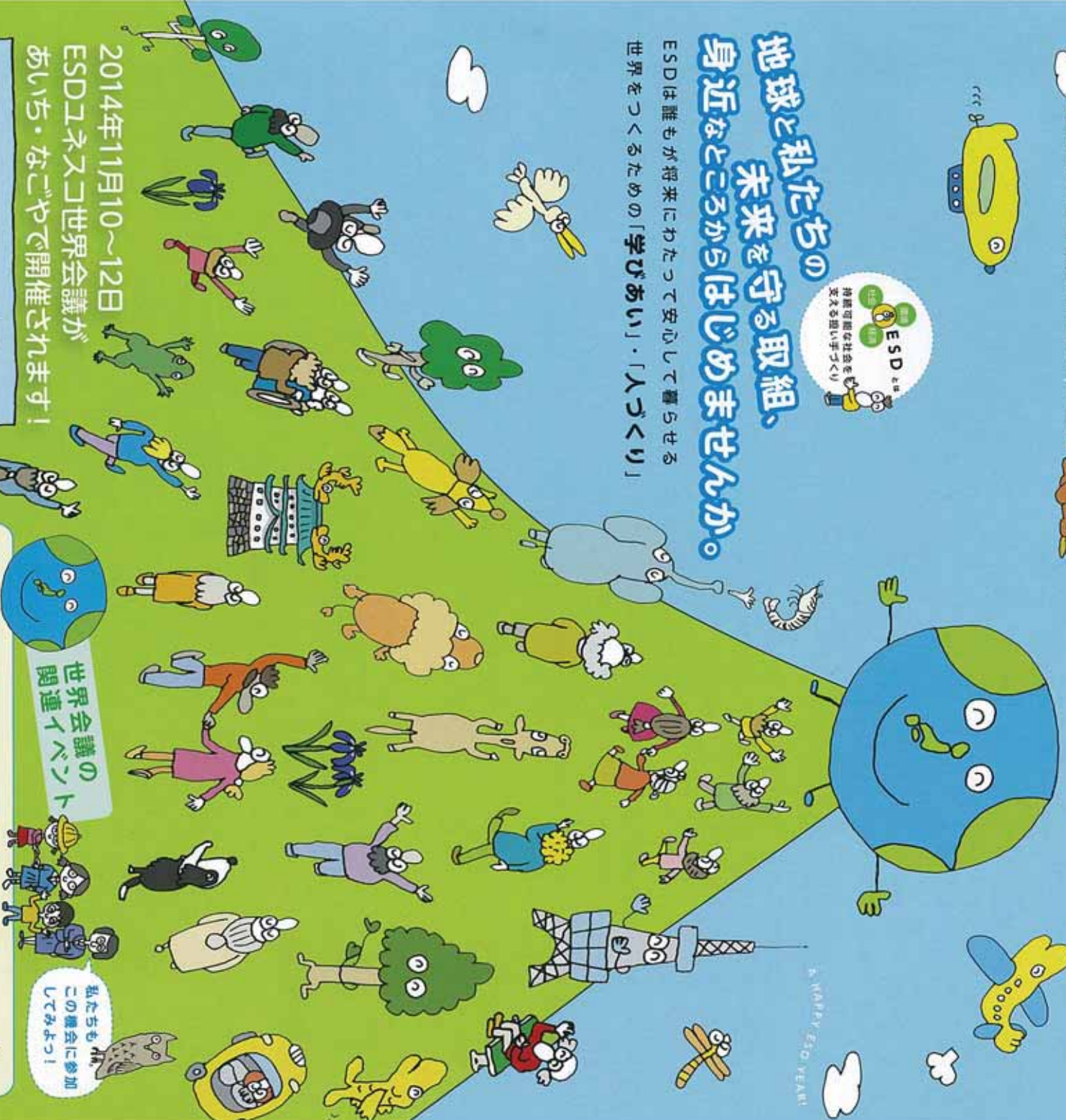
2014年はESDイヤーです!

ESD Education for Sustainable Developmentの略



地球と私たちの未来を守る取組、身近なところからはじめませんか。

ESDは誰もが将来にわたって安心して暮らせる世界をつくるための「学びあい」・「人づくり」



2014年11月10～12日 ESDユネスコ世界会議が あいち・なごやで開催されます!



世界会議の 関連イベント

ESD イヤーキックオフイベント
2014年を「ESDイヤー」として位置付け、ESDイヤーキックオフイベントを開催します。
期 間：2014年11月13日(月・祝)
場 所：ライゾフあいち

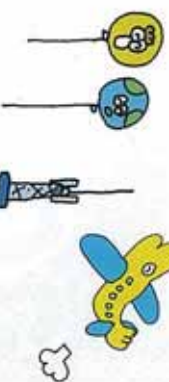
半年前イベント
開催半年前を節目としてとらえ、開催機運のさらなる醸成を図るためのイベントを開催します。
期 間：2014年5月

子ども会議の開催
将来の持続可能な社会づくりの担い手である子どもたちが主体となる子ども会議を開催し、未来のあいち・なごやを支える人づくりを進めています。
期 間：2014年11月



2014年はESDイヤーです!

2005年から世界中で取組が進められている「国連ESDの10年」を締めくくる重要な国際会議、2014年11月にあいち・なごやで開催されます。



いま、なぜESDが大切か



ESD (Education for Sustainable Development) は「持続可能な開発のための教育」と訳されます。キーワードは「**持続可能**」です。

社会が持続しつづけるためには、環境保全と経済発展をバランスよく進めていくことが重要だと言われています。

これまでの経済開発が優先されてきた社会づくりの中で、今、私たちは、**地球環境、貧困、人権、平和、食料**などについて、解決困難な問題を抱えています。これらの問題は複雑につながりあっており、持続不可能な社会状況を生み出しています。

2002年、南アフリカのヨハネスブルグで行われた「持続可能な開発に関する世界首脳会議」、国内NGOからの提言を踏まえ日本政府が提唱し、2005年から「**国連ESDの10年**」(～2014年)がスタートしました。

未来の世代のこと、今生きている人々のこと、地球の資源の有限性について私たちが考え、行動することが求められています。

ESDはそのための「**学びあい**」・「**人づくり**」であり、環境・経済・社会が調和し、誰もが将来にわたって安心して暮らせる世界をつくるための学びと教育の活動です。



世界の安全、経済の発展、社会の発展を調和の下に進めていくことが持続可能な開発です。(参照：我が国における「国連持続可能な開発のための教育の10年」実施計画(平成23年6月3日改訂、「国連持続可能な開発のための教育の10年」関係国政府首脳会議))



ESDはみんなで見えて、教えあう、一緒に学びあい!



ESDに関するユネスコ世界会議

【概要】

主催：国際連合教育科学文化機関(ユネスコ)、日本政府
開催期間：2014年 11月10日～12日

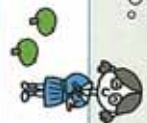
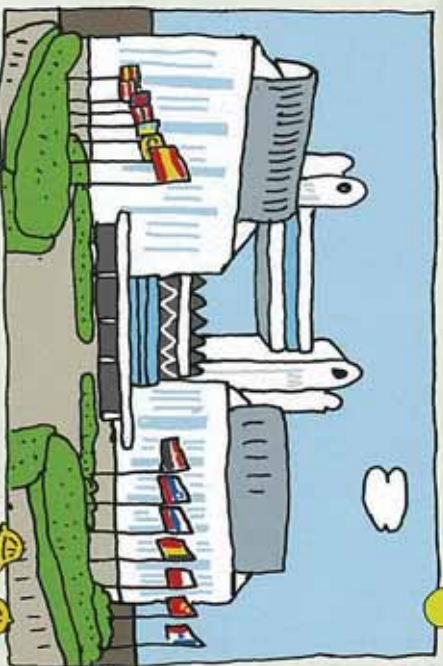
閣僚級会合、全体会合など
11月13日 フォローアップ会合

岡山市では、各種ステークホルダー*会合を開催予定
*利害関係者のことであり、国連機関、研究者、学校関係者、民間企業、NPO等を想定。

会場：名古屋国際会議場
参加規模：国内外の関係、政府関係者など約1,000人を含む
数千人規模の参加を想定

*2013年11月現在、ユネスコ加盟国は195カ国。

内容：「国連ESDの10年(2005年～2014年)」の活動を振り返るとともに、2014年以降の方策を議論する。



あなたの毎日が、未来になる

未来を創るわたしを育てESD

ESD ユネスコ世界会議あいち・なごや支援実行委員会

TEL 052-951-5350 FAX 052-951-5355

E-mail: info@esd-aichi-nagoya.jp

URL : http://www.esd-aichi-nagoya.jp/

